

	1明るく元気な地域づくり	2安全で安心な地域づくり	3健康で豊かな地域づくり	4相談しやすい体制づくり
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小合東放課後児童クラブ ・小合小学校、小合東小学校 4年生総合学習(サロン交流含む) ・こあいキッズステーション ・ハロウィンフェスティバル ・クリスマスの集い 	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉クリーン作戦 ・自主防災訓練 ・訪問型生活支援事業(こうめおたすけたい、各町内) ・なじらて訪問 ・歳末見守り事業打ち合わせ・実施 ・SNSを活用し連絡網の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇花苗植え ・小合芸術祭 ・福祉輪投げ大会 ・コミセンサロン ・地域の茶の間、ふれあいいいききサロン(各町内) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「よらねかね小合」の発行 ・こあいミラビブログ ・地域福祉懇談会
活動の様子	 <p>小合小学校総合学習</p>	 <p>こうめおたすけたい</p>	 <p>ハロウィンフェスティバル</p>	 <p>地域福祉懇談会</p>
取組んでみての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内のサロンはこの目標にもつながる活動が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での担い手やボランティアをする人が少ない。募集しても入ってくれない。 (自主防災訓練) 子どもたちの参加が少なかった。小学生の参画がほしい。 (こうめおたすけたい) ・利用する側が内容や対象者をよく理解していないかもしれない。まだ認知が足りない。 ・コミセンで開催されるイベント等やサロンには利用できないと思っているかもしれない。 ・地元の住民以外は知らない団体へ相談や依頼ができないかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> (コミセンサロン) ・開催の周知はしているが、なかなか伝わらない。サロンのない地域の参加者が少ない。 (各町内の茶の間・サロン) ・歩いて行けるとところにサロンがあるとよい。 ・現在、サロンを実施していない地域にサロンを立ち上げられるとよい。 ・声をかけてもなかなか参加にはつながらないが、もっと声をかけあって、参加を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> (よらねかね小合) ・広報誌ではイベント等の告知や情報発信よりも活動の報告となっている。 ・コミ協のイベントや行事等それぞれのチラシ等でPRしている。

	1明るく元気な地域づくり	2安全で安心な地域づくり	3健康で豊かな地域づくり	4相談しやすい体制づくり																																				
取り組んでみての評価	<p>(ハロウィンフェスティバル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生や若い人のチームや学校のコーディネーターもうまく関わって行うこともできた。 <p>(クリスマスの集い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の協力によって参加してもらえるようになった。 <p>(小学校総合学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学習の一環で小学生がサロンを訪問している。高齢者と小学生の交流は非常に喜ばれた。 	<p>(見守り活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小戸下組町内会で行っている見守り隊では、主にサロンやコミセンまでの送迎であり、年間約90件行っている。 	<p>(福祉輪投げ大会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景品を用意する工夫をして、参加者は多数である。 <p>(各町内の茶の間・サロン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回のサロンが高齢者の楽しみと元気の素である。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、ポッチャ大会が開催される。 	<p>(よらねかね小舎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協のイベントや行事等はそれぞれのチラシ等でPRしている。 <p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後はLINE等のSNSを活用して情報発信できるとよい。安否確認にも活用できる。そのためにもスマホ教室の実施をこれから検討している。その際は中学生に教える側として参加してもらってもよい。 																																				
5年間の評価	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>割合</th></tr> <tr><td>A</td><td>42%</td></tr> <tr><td>B</td><td>48%</td></tr> <tr><td>C</td><td>5%</td></tr> <tr><td>D</td><td>5%</td></tr> </table>	評価	割合	A	42%	B	48%	C	5%	D	5%	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>割合</th></tr> <tr><td>A</td><td>37%</td></tr> <tr><td>B</td><td>58%</td></tr> <tr><td>C</td><td>5%</td></tr> </table>	評価	割合	A	37%	B	58%	C	5%	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>割合</th></tr> <tr><td>A</td><td>21%</td></tr> <tr><td>B</td><td>68%</td></tr> <tr><td>C</td><td>11%</td></tr> </table>	評価	割合	A	21%	B	68%	C	11%	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>割合</th></tr> <tr><td>A</td><td>21%</td></tr> <tr><td>B</td><td>42%</td></tr> <tr><td>C</td><td>26%</td></tr> <tr><td>D</td><td>11%</td></tr> </table>	評価	割合	A	21%	B	42%	C	26%	D	11%
評価	割合																																							
A	42%																																							
B	48%																																							
C	5%																																							
D	5%																																							
評価	割合																																							
A	37%																																							
B	58%																																							
C	5%																																							
評価	割合																																							
A	21%																																							
B	68%																																							
C	11%																																							
評価	割合																																							
A	21%																																							
B	42%																																							
C	26%																																							
D	11%																																							
<p>各基本目標に向け、計画書に書かれていることに取組んだかどうかで評価し、懇談会に参加した地域の皆さんがお一人ずつ評価してくださいました。 A=80%以上取組めた(新規活動や既存活動の工夫を行った) B=50%の取組み(既存の取組みの継続) C=30%の取組み(道半ば・やめてしまった)D=全く取組みなかった ※グラフは、評価をつけた方の人数の割合です。</p>																																								

(地域における組織運営・情報共有の課題について)

- ・こうめおたすけたいはまだ認知が少ないが、小戸下組町内会では多くのニーズがある。→積み上げてきた実績もあるが、PR 方法の工夫が必要。
- ・活動を行っていると個人情報の壁があたることもある。・情報を共有できるイベント等をできるとよい。
- ・自治会や町内会と民生委員間で情報共有が難しい場面がある。・人数や地区が多いとわからない。自治会長に教えてほしい。
- ・閉じこもりがちの人は声をかけても出てこない。そういった人をどうするか。
- ・地域で行われている訪問型生活支援の取り組みを知らなかった。今後は必要としている方につなぎたい。
- ・包括支援センターへの相談件数は他地区より少ない印象。今後はコミ協とも連携してニーズをキャッチしたい。

まとめ:支援が必要な住民の把握が難しく、個人情報の壁や組織間の情報共有不足が課題となっている。既存の生活支援活動や「こうめおたすけたい」などの取り組みも十分に周知されていないので、PR の工夫や自治会や町内会・民生委員・包括支援センターとの連携強化が必要である。

(交通・移動支援の課題について)

- ・高齢者にとって、コミセンサロンは移動手段がないと行けない。
- ・移動や送迎に関する取り組みがあることは小合地区の強みである。→地区全体で盛り上げ、気運を高めたい。

まとめ:高齢者の外出やサロン参加には移動手段の確保が不可欠であり、既存の送迎・移動支援は地域の強みとなっている。これを地区全体の取り組みとして波及させ、外出支援のしくみをさらに強化することが必要である。

(地域活性化と交流・居場所づくりについて)

- ・来年度は水害へ備える訓練を予定している。小学生高学年や中学生にも役割を与えてはどうか。
- ・中学生と普段から交流することが、いざというときの協力につながる。
- ・中学生は来年度から部活が地域展開となる。これをチャンスと捉え、地域とコミセンの活動としてコラボしてはどうか。コミセンが受け皿となり、居場所を作れるとよい。
- ・イベント等では小中学生の参加がまだ少ない。コーナー等を設けてスタッフとして参加してもらえるとよい。
- ・小中学生がコミ協の活動に参画できる仕組みづくりができるとよい。→中学生の「チカラ」を地域に取り入れる！

まとめ:小中学生の地域参画がまだまだ十分ではない。日常的な交流や役割づくりが課題となっている。防災訓練や各種イベント、部活動の地域展開を契機に、コミセンを受け皿とした居場所づくりや参画の仕組みを整えることで、世代間交流と地域力の向上にもつながる。

[参加者]

<小合コミ協> 井浦会長、岡田副会長、澤田副会長、稲月副会長、今井事務局長、<自治会・町内会> 地区社協:伊藤幹事(大鹿)、井村幹事(栗宮)、古川幹事(小屋場)、上田幹事(川根)、藤田幹事(出戸)、加藤幹事(子成場)、江口幹事(野方)、<サロン> 鈴木(大鹿)、吉田(サロンとき)、大竹(子成場)、星野(大秋)
<小合民児協> 渡辺副会長、高橋委員、小林委員、四柳委員、地域包括支援センターこすど:小出、
秋葉区社協:秋山事務局長補佐、出口(地区担当)、岡村(支え合いのしくみづくり推進員)